

(放射線医学講座)

1. 授業担当教員

教授 沖崎貴琢 講師 中島香織, 山品将祥, 中山理寛, 助教 青木友希, 野村健太  
連絡先 内線 2572 E-mail okizaki@asahikawa-med.ac.jp

2. 授業科目の授業内容および講義日時

【特論】(選択2単位)

(目的・概要) 放射線・放射能を用いた癌治療分野における臨床試験, 臨床研究に関する基本的な方法論, 手技に関する講義, 基礎的な放射線腫瘍学の講義, セミナーを行い, 臨床研究遂行に関する基礎的な医学知識や悪性腫瘍診療における臨床知識を修得する。また同時に, 「放射線診断専門医」, 「核医学専門医」, 「放射線治療専門医」等の放射線・放射能を用いたがん診療に関する専門医, 認定医資格取得のための知識を習得することができる。

○参加可能プログラム 放射線腫瘍学特論/教授・沖崎貴琢, 講師・中島香織, 山品将祥, 中山理寛, 助教 青木友希 放射線腫瘍学についての基礎的な知識(放射線生物学を含む), 疾患ごとの内用療法を含めた治療方針などを学習する  
臨床研究セミナー 随時  
基礎研究セミナー 随時

【特論演習】(選択6単位)

(目的・概要) 上記領域の臨床試験, 臨床研究に関する基本的な方法論, 手技を修得する。このためには腫瘍学領域における放射線・放射能を用いた診断技術, 放射線腫瘍学の技術の習得が前提となり, これらは, 「放射線治療専門医」, 「核医学専門医」, 「放射線診断専門医」, 「がん治療認定医」等のがん診療に関する専門医資格取得にも必要となる。

○参加プログラム  
研究グループへの参加 随時

【特論実験・実習】(選択4単位×3)

(目的・概要) 放射線・放射能を用いた画像診断などにより, 腫瘍の病期診断, 治療法の選択決定, 治療効果判定, 予後の推定などに関して, 基本的な能力を養う。放射線・放射能(外部照射, RI内用療法)を用いた治療に関する基礎的な能力を養う。固定具作成などを含めた治療計画や測定, 内照射の管理など実践的な実習を行う。そのうえで, これらを実践していく上で必要な医療放射線防護と安全管理に関する基本的知識を習得する。

- ①画像診断による病期の決定, 治療法の選択, 治療効果判定, 予後の推定
- ②放射線・放射能(外部照射, RI内用療法)を用いた治療技術
- ③放射線防護, 安全管理

○参加可能プログラム  
研究グループへの参加 随時

【論文作成演習】(選択4単位)

(目的・概要) 論文の作成を通じて, 必要な情報を収集し, 情報を分析・理解するとともに, 一定の構想を練り上げたいうえて, 論文を作成する能力を身につけることが目的である。

医学研究の遂行に必要な基本技術, 英語論文の批判的読解能力, 実験仮説を組み立てる能力, 口頭発表・討論の能力, 論文作成能力などについて, 履修者が実際に取り組んでいる研究や実験結果に基づき, 論文作成演習を行う。

○参加プログラム  
演習 文献や論文の内容について, 随時, 指導教員の指導を受けながら論文を作成する。  
症例発表会 毎週月曜日 17:30から18:30

3. 授業方法

少人数制とする。受講者同士および教員との交流を深めることにより受講者の理解を助けるため, できるだけ討論の場を設けながら進める。

4. 成績評価基準

特論・特論演習: 年度ごとに試験を実施し, 別紙の成績評価基準に従って単位を認定する。  
実験実習: 科学論文を作成するのに足りる実験結果を得られたかどうかを, 別紙の成績評価基準に従って単位を認定する。  
論文作成演習: 実験結果を論文としてまとめ, 学位論文として提出できたかどうかを, 別紙の成績評価基準に従って単位を認定する。

5. 講義室

原則として, 放射線医学講座, 大学病院において実施するが, プログラムにより異なる場合もあるので, 受講前に担当教員に確認すること。

6. その他